

平成 25 年度事業計画

1 平成 24 年度活動結果

(1) 取組実績

ア 情報提供（講演会） 3回

- ・植物工場見学及び講演会 9/27 65社 87名
「植物工場の現状と課題」（野菜茶業研究所）
「施設野菜の企業経営化へ向けた諸課題」（カゴメ株）
「J F E ライフの植物工場事業と諸課題」（土浦グリーンハウス）
- ・機能性食品講演会 11/6 9社 11名
「シニア向け食品開発の最近の動向」（食品総合研究所）
「ヤーコンの栽培から加工まで」（つくばヤーコン株）
- ・米粉分科会セミナー 12/12 10社 12名
「製粉技術と米粉特性について」（農研機構）
「グルテンフリーパンの製法について」（農研機構）

イ 大手企業等との交流 8回

- ・ J F E ライフ植物工場見学会 5/11, 14, 15 6社 20名
- ・ J F E ライフ植物工場シーズ発表会 6/7 3社 6名
- ・ 米粉工場見学及び研修会（榊波里） 7/11 16社 20名
- ・ 冷凍ピザ工場見学会（株明治 茨城工場） 11/28 11社 13名
- ・ 筑波銀行「ビジネス交流会 in つくば」 10/16 会員企業 10社出展
- ・ 食品総合研究所「フォードフォーラムつくば」 11/2 会員企業 2社出展
- ・ 水戸信用金庫「ビジネスマッチングフェア」 11/13 会員企業 8社出展
- ・ 常陽銀行「食の商談会」 2/5 会員企業 17社出展

ウ 技術力の向上

【米粉分科会】

- ・ 11月1日～ 農業生物資源研究所から「esp2」の提供を受け、会員企業 10社が試作中
- ・ 12月12日 「esp2」米粉パン、米粉コロッケ、米粉シフォンケーキを持ち寄り試食検討

(2) 取組成果 (H25. 1. 31 現在)

- ・試作案件 2 件
- ・共同研究の開始 5 件
- ・共同研究準備中 4 件
- ・大手企業への技術提案 3 件
- ・競争的資金申請支援 5 件
- ・会員企業間の連携・取引・研究機関への橋渡し等 19 件

(3) 課題

- ・会員企業の成長分野への新規参入を促進していくためにも、積極的な異業種連携に取り組んでいく必要がある。
- ・高齢社会の進展や健康志向の高まりを受けた、中小企業だからこそできる少量多品種対応の新製品開発を行っていく必要がある。
- ・大手企業の製品との差別化を図るため、地域独自の食材を活用した情報発信力のある新製品開発を行っていく必要がある。
- ・H24 年度に交流のなかった外食産業との交流を実施する。

2 平成 25 年度活動方針

- (1) 食品・農産物加工現場ニーズ調査の結果を踏まえ、生産者・加工業者・ものづくり企業・IT 企業が連携して食品現場の課題解決を図る取り組みを進める。
- (2) 新製品開発については、高齢化社会や健康志向の高まりを踏まえ、「低カロリー」、「抗酸化作用」、「対アレルギー」などのキーワードに基づいた“体に優しい製品”開発を支援する。
- (3) 食品・農産物加工の際に廃棄されている残渣に含まれる有用成分を活用した製品開発を支援する。
- (4) 外食チェーンに対し、研究会の中で開発した製品等を積極的にアピールしていく。

3 平成 25 年度事業計画

(1) 情報提供 (講演会など)

ア アレルギー対応食品の技術情報セミナー

- ・期 日：5 月
- ・講演候補：日本ハム(株)、キューピー(株)、(株)永谷園、食総研など
- ・内 容：食物アレルギーに対応した新製品の開発やアレルギー対応食品に係るビジネス展開等について情報を提供する。

イ 高齢化社会や健康志向の高まりを踏まえた新製品開発事例の紹介

- ・期 日：6 月
- ・講演候補：美野里ふるさと食品公社、(有)高橋肉店、富士化学工業(株)
- ・内 容：研究会活動を通じて実際に製品開発を行っている企業から、開発状況や体験談、今後の展開などをプレゼンしてもらう。

ウ 食品機械業界の動向と今後の展望

- ・期 日：7月
- ・講演候補：レオン自動機㈱
- ・内 容：食品機械の国内トップメーカーが語る業界の動向や今後の展望について工場見学と併催する。

エ 地域ブランドの構築に向けたセミナー【県農商工連携推進協議会との共催を検討】

- ・期 日：9月
- ・講演候補：㈱ブランド総合研究所，小美玉市商工会（山西商店）
- ・内 容：地域で生まれた製品に付加価値をつけるための戦略を解説。実際に「小美玉プリン」を開発・販売している企業の生の声を紹介する。

(2) 大手企業等との交流

ア ㈱前川製作所（守谷工場：守谷市）【環境・新エネルギー研究会との共催】

- ・期 日：4月
- ・選定理由：熱交換技術，食品機械技術など食品分野，エネルギー分野に広範な優れた技術を有している。
- ・内 容：食品機械分野にも応用される熱交換技術等の現場見学会の開催。

イ レオン自動機㈱（上河内工場：宇都宮市）

- ・期 日：7月
- ・選定理由：食品機械の国内トップメーカー。食品を製造する企業，新たに食品機械分野への参入に関心のある企業の双方にとって有効。
- ・内 容：機械設計の段階からユーザーが関わり，購入後も商品開発に積極的に協力する社内体制の紹介のほか，業界動向や今後の展望に関するミニセミナー，工場見学。

ウ ホリイフードサービス㈱（本社：水戸市）

- ・期 日：11月
- ・選定理由：水戸市に本社があり，「隠れ菴 忍家」「常陸之國 もんどころ」「串・海鮮・ホルモンかどでや」などを展開するフランチャイズ。地元のこだわり素材を募集している。
- ・内 容：会員企業による食品加工品，食品機械の提案会

エ 会員企業間の工場見学

- ・期 日：2月
- ・選定理由：バスで会員の工場を訪問し，製造現場や製品開発方法を勉強する。
- ・内 容：会員企業の中から数社を見学する。

(3) 技術力の向上

ア 食品・農産物加工現場ニーズ調査に基づく異業種連携の研究開発

ノンフライ食品，根菜類の皮むき機械，野菜カット・スライス機械等の開発を支援する。

イ 体に優しい製品の開発

乳酸菌H61を活用したヨーグルト開発（継続），アスタキサンチンを活用した機能性食品，油で揚げない食品等の開発を支援する。

ウ 食品・農産物残渣の有用成分を活用した製品の開発

干し芋の残渣に含まれる抗酸化作用成分を活用した製品の開発支援など

エ その他

チョウザメ加工製品，廃水処理技術，あした葉による塩害対策と機能性飼料の開発支援など

(4) 米粉に関する取組

新たに立ち上げる「食と工の連携推進分科会」(*)の中で会員企業が独自に開発した米粉製品を持ち寄り，食品総合研究所の研究者との勉強会を年2回開催する。

(*)「食と工の連携推進分科会」

…食品・加工現場ニーズ調査で得られたニーズをもとに生産者・食品加工業者・ものづくり企業・IT企業が連携して課題解決を図るための分科会。3月15日設立予定。

4 スケジュール

| 項目 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 |
|-----------|---------------------------|-------|-----------------------------------|----------------------|-------|------------|
| 技術力向上 | 食品・農産物加工現場ニーズ調査に基づく研究開発 → | | | | | |
| 情報提供 | | アレルギー | 高齢化, 健康志向 を踏まえ た製品開 発 | 食品機械 業界の動 向・展望 | | 地域ブラ ンド |
| 大手企業等との交流 | (株)前川製作所 | | | レオン自動機 | | |
| その他 | | | | | 米粉分科会 | |
| 企業フォロー | 随 時 | | | | | |

| 項目 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|-----------|---------------------------|--------|-----|-------|-------------|----|
| 技術力向上 | 食品・農産物加工現場ニーズ調査に基づく研究開発 → | | | | | |
| 情報提供 | | | | | | |
| 大手企業等との交流 | | ホリイフード | | | あさ川, 旭物産 | |
| その他 | | | | 米粉分科会 | | |
| 企業フォロー | 随 時 | | | | | |